



取扱説明書

GUITAR
AMPLIFIER

F100-115



●ごあいさつ

このたびは、YAMAHAギターアンプF100-115をお買い上げいただきましてありがとうございました。

F100-115はギタリストの要求する多様なサウンドに応じて豊富なコントロール機能を備え、特にパラメトリックイコライザーの採用によってきめ細かい音づくりを可能にしたエキサイティングで、パワフルなギターアンプです。

●音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりするのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

●プロフィール

ヤマハギターアンプF100-115は2系列の入力部A、Bを持ち、プッシュスイッチ（またはフットスイッチ）によりA、Bのいずれかを選択することができます。A系列はノーマルな入力でクリアなサウンドを。B系列はGAIN、MASTER VOLUMEの組み合わせにより、ディストーション（オーバードライブ）サウンド効果が得られます。

音色のコントロールとして、BASS、MIDDLE、TREBLEを独立して調整できるほか、PULL FAT*、PULL BRIGHTスイッチを設けて瞬時に中音域、または高音域の音色を強調できる機能を備えたライブパフォーマンスの優れた構成となっています。

更にパラメトリックイコライザー*を採用。従来のトーンコントロールでは得ることのできない、きめの細かいサウンド創りを可能としています。

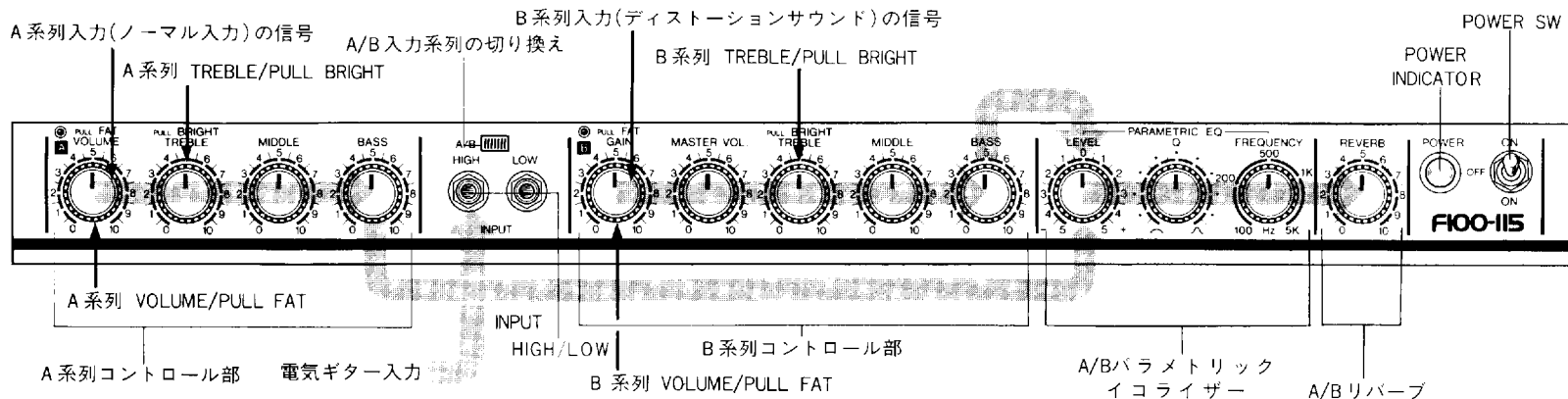
出力端子は3つあり、38cm大口径内蔵スピーカーをドライブするほか、EXT端子を設け、外部スピーカーを独立して（または内蔵スピーカーと同時に）ドライブすることもできます。またDIRECT OUT端子によりテープレコーダーやミキサーなどヘラインレベルの信号を送り出すことが可能です。

*PULL FAT…ギターアンプの周波数特性は低域、高域を特に強調しています。これはコード演奏の時など、分離の良いサウンドを作る為ですが、メロディパートなど単音演奏の時は音がやせて聞こえる結果にもなります。そこで、このPULL FATつまみを手前に引くことにより、中域特性を強調、メロディパートなどに偉力を発揮します。

*パラメトリックイコライザー…従来のトーンコントロールでは表現できなかった、特定の音域を強調したサウンドや、ノイズの低減など大胆な音色創造から、演奏会場での残響やハウリング等の音場補正まで、幅広いコントロールを可能にしたのがパラメトリックイコライザーです。このイコライザーにより、プレイヤーの感覚、主張をフルに表現できます。

●コントロールパネル

●ジャックに入力された信号は矢印のような大きな流れに分れ、音色をコントロールされて出力されます。名称と簡単な機能を示します。



INPUT 入力ジャック (HIGH/LOW)

電気ギターは一般的にHIGH端子に接続します。電気ギターが高レベル出力タイプの時などは、LOW端子に接続します。

- LOW端子はHIGH端子にくらべ音がソフトになり、また音量も小さくなります。
- シンセサイザーなどの電子楽器は、LOW端子に接続します。

A/B 入力系切り換えスイッチ A(■), B(□)

ボタンを押すとA, Bの入力系が切り換わり、選択された入力系のインジケーターが点灯します。

A系列はノーマル入力で、B系列はディストーションサウンドをつくることができます。

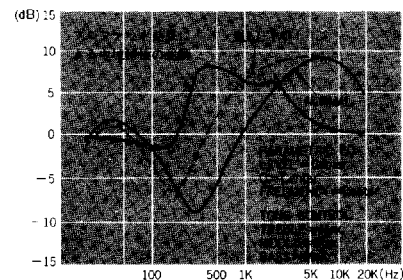
- フットスイッチを使用すると、このスイッチは働かず、フットスイッチによって切り換えられます。

A系列入力コントロール

VOLUME/PULL FAT (ボリューム/プルファット)

A系列の音量をコントロールします。ツマミを手前に引くと (PULL FAT) 中域の強調された音色になります。右図は、プルファ

ットツマミ (PULL FAT) によって、中音域の特性だけが強調されることを表しています。



トーンコントロールについては4ページをごらんください。

B系列入力コントロール

GAIN/PULL FAT (ゲイン/プルファット)
MASTER VOLUME (マスターボリューム)

ディストーション (オーバードライブ) サウンドをつくる時、B系列の入力系を使用します。

音量はGAIN, MASTER VOLUME の両方によってコントロールされますが、GAIN ツマミを時計方向に回すとディストーション効果が現われ、より時計方向に回すほど、効果は強くなります。MASTER VOLUMEはGAIN を調整したあとに音量をコントロールします。

TONE CONTROL

TREBLE/PULL BRIGHT (トレブル/プルブライツ)
MIDDLE (ミドル), **BASS** (バス)

高域 (TREBLE), 中域 (MIDDLE) 及び低域 (BASS) の音色をつくるつまみです。それぞれ中心位置 (5) にある時標準的な音色となり時計方向 (10) に回すほどそれぞれの音域が強調された音色になります。

また、TREBLE ツマミを手前に引くと、(PULL BRIGHT) 高域が更に強調された明るい音色となります。

- PULL BRIGHT の効果は VOLUME ツマミ (または GAIN ツマミ) の設定位置によって異

なり、つまみを最大にした時、効果は無くなります。

POWER SW (パワースイッチ)

このパワースイッチは、センターが OFF になっています。上あるいは下にする ON になります。これは AC 電源の位相を切り換えられるようになっているため、電源を入れ、インプットに何も接続しないときのスピーカーから出る、ハムやノイズが少ない側の ON を使用してください。

PARAMETRIC EQUALIZER

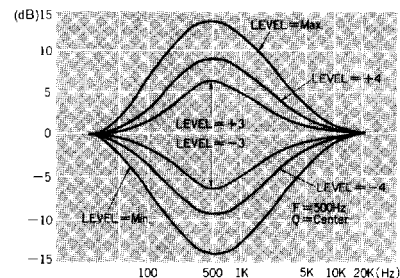
(パラメトリックイコライザー)

■ LEVEL (レベル)

● ツマミを時計方向 (+) に回すと、FREQUENCY ツマミで設定した周波数にピークを生じ、その音域が強調されます。反時計方向に回すと、その音域が減衰します。つまみが中央 (クリックストップ位置: 0) にあるときは、Q, FREQUENCY ツマミがどこにあっても、効果は現われません。

このつまみは、下図のように強調または減衰するレベルをコントロールします。

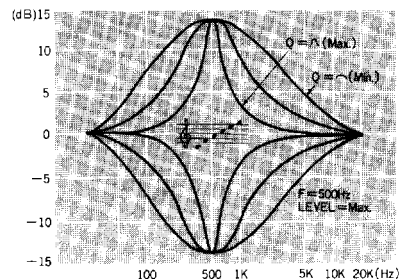
Q, FREQUENCY を一定にして、LEVEL を変化させた時の特性です。LEVEL が中央のときパラメトリックイコライザーは働きません。



■ Q (キュー)

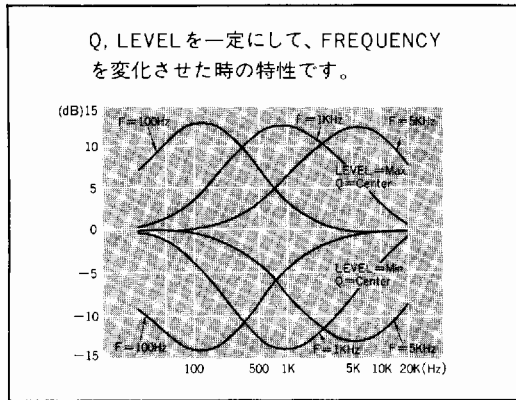
● ピーク (∧) またはディップ (∨) の鋭さをコントロールします。時計方向に回すほど鋭い特性となり、効果の及ぼす音域が狭くなります。

LEVEL, FREQUENCY を一定にして Q を変化させた時の特性です。横軸の周波数を音符で表現しています。



■ FREQUENCY (フリケンシー)

- 効果の及ぼす周波数を決めます。表示はピークまたはディップの中心周波数を表わします。



REVERB (リバーブ)

- リバーブレーション (残響) 効果の強さをコントロールします。時計方向に回すほど強い効果が得られます。
- フットスイッチにより REVERB のリモートコントロールができます。

● ご注意

- 電気ギターとアンプを接続する際は必ずギター側を先に接続し、その後アンプ側を接続するようにしてください。逆の接続をしますとスピーカをいためる原因となります。
- 接続コードの脱着時は必ずボリュームを絞ってください。

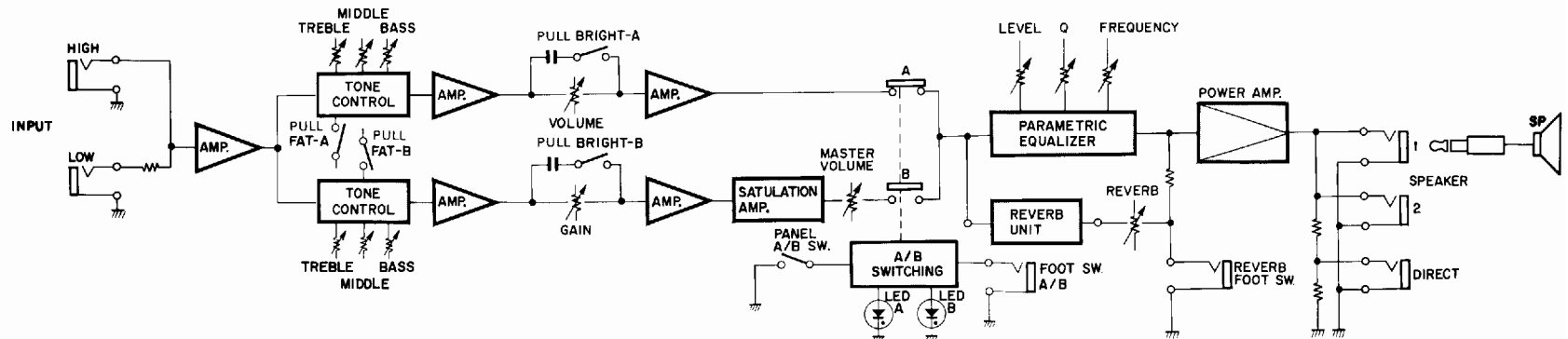
- AC OUTLETは250Wまで供給できます。これ以上の消費電力の機器のご利用は、おやめください。

- 物をぶつけたり、落したりの乱暴な取り扱いは部品に悪い影響を与え、性能を劣化させますので、ていねいにお取り扱いください。

- 本機は、国内電源電圧 AC100V50/60Hz でお使いください。

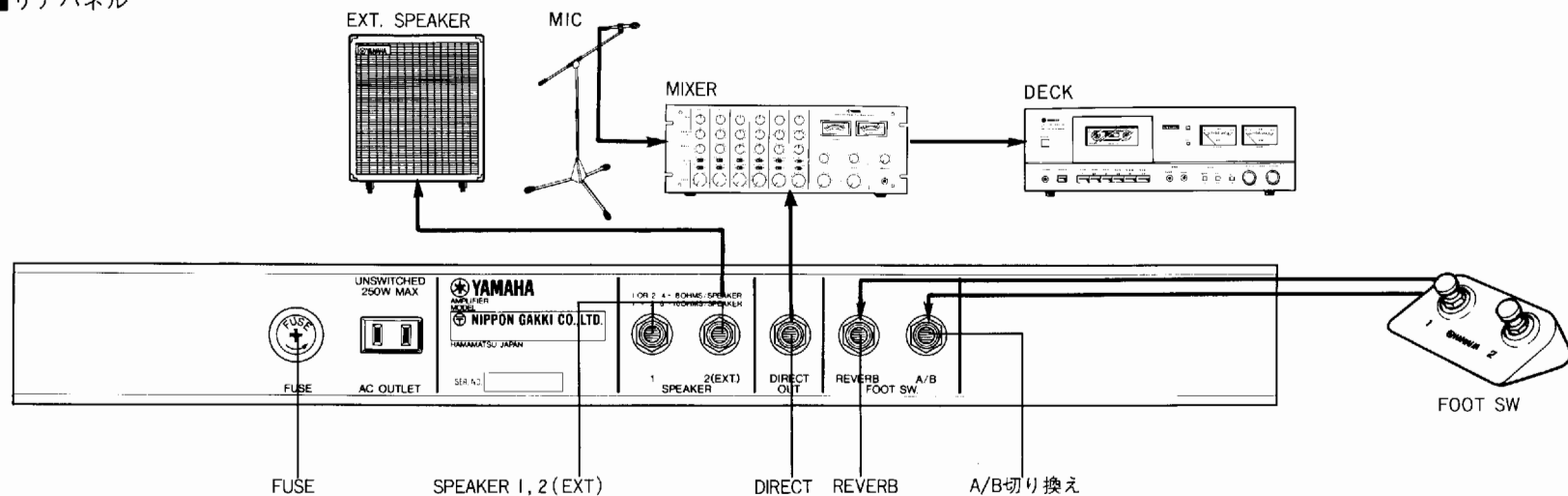
- この取扱説明書をお読みにになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

● ブロックダイアグラム



●リアパネル・接続図

■リアパネル



●FUSE

ヒューズを交換する場合は、必ず電源プラグをコンセントから引き抜いたのち同じ定格のものとの交換してください。なお、ご使用中におけるヒューズの断線はご使用上のミスのほか、故障などの原因によるものですから、お買上げ店もしくは最寄りのヤマハサービスステーションにご相談ください。

●SPEAKER 1, 2 (EXT)

ジャック1には内蔵スピーカーが接続されています。また、内蔵スピーカーだけでなく外部スピーカーを使用する場合には、ジャック2またはジャック1に接続できます。スピーカーを並列接続（内部+外部）、（外部+外部）するときには、合成インピーダンスが4～8Ωになるようにしてください。誤まった接続をすると故障などの原因となります。詳しくは最寄りのヤマハサービスステーションにご相談ください。

●DIRECT OUT

ラインレベルのモニター出力端子です。ミキサー、テープデッキ等に接続するときに使用します。信号はフロントパネルの全てのツマミ等によってコントロールされメインアンプを通ったものが出力されます。

●FOOT SW

フットスイッチを接続する端子です。フットスイッチにより、A/B入力系の切り換え、リバーブのON/OFFのリモートコントロールができます。

●仕様

定格出力	100W (1KHz, 8 Ω THD 10%)	
入力端子	HIGH×1 LOW×1	
出力端子	DIRECT OUT (-20dB, 600 Ω)	
	SP 1, 2(EXT.) FOOT SW (A/B, REVERB)	
スピーカー	JA3802 38cm×1 8 Ω	
ゲイン (1KHz 4 or 8 Ω)	A 系列	B 系列
	HIGH : 70dB LOW : 58dB	HIGH : 84dB LOW : 72dB
ノイズ	-45dB (ALL KNOB MIN.) -32dB (VOL. & TONE MAX.)	-45dB (ALL KNOB MIN.) -42dB (MASTER MAX.) -20dB (GAIN, MASTER, & TONE MAX.)

コントロール	A 系列	B 系列
	VOLUME/PULL FAT	GAIN/PULL FAT MASTER VOLUME
リバーブ	TREBLE/PULL BRIGHT, MIDDLE, BASS PARAMETRIC EQUALIZER LEVEL, Q, FREQUENCY REVERB, A/B SWITCH	
	スプリングタイプ	
消費電力	90W	
定格電源	AC 100V 50/60Hz	
寸法	634(幅)×600(高さ)×280(奥行)mm	
重量	31Kg	
付属品	フットスイッチ, ビニールカバー	

※仕様は予告なく変更することがございます。

●サービスのご依頼について

■保証

ヤマハギターアンプの保証は、ご購入日より(保証書による)満1ヶ年(現金・クレジット・月賦等による区別はございません。又保証は国内のみ有効)と致します。

■保証書

ヤマハギターアンプには、保証書が添付されておりますので販売店の店頭にて諸事項をご記入の上、大切に保管ください。

■アフターサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店にご持参頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂たく場合もあります。又お買上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あるいは日本楽器支店にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

■保証期間後のサービス

満1ヶ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお修理可能期間は10年、また補修用性能部品(製品本来の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は8年となっています。そのほかご不明の点などございましたらヤマハサービス網までお問い合わせください。



日本楽器製造株式会社

本社・工場 〒430 浜松市中区浜町10-1
TEL. 0534(65)1111

東京支店 〒104 東京都中央区銀座7-9 18 パールビル内
TEL. 03(572)3111

銀座店 〒104 東京都中央区銀座7-9 14
TEL. 03(572)3131

渋谷店 〒150 東京都渋谷区道玄坂2 10 7
TEL. 03(476)5441

池袋店 〒171 東京都豊島区南池袋1-24-2
TEL. 03(981)5271

横浜支店 〒221 横浜市中区本町6-61-1
TEL. 045(212)3111

横浜店 〒220 横浜西区南幸2-16-13
TEL. 045(311)1201

千葉支店 〒280 千葉市千葉港2-1 千葉コミュニティセンター内
TEL. 0472(47)6611

関東支店 〒370 高崎市敷川町8番地 高崎センター内
TEL. 0273(27)3366

大阪支店 〒564 吹田市新芦屋下1 16
TEL. 06(977)5151

心斎橋店 〒542 大阪南区心斎橋筋2 39
TEL. 06(211)8331

神戸支店 〒651 神戸市灘合区浜辺通9 6丁目1の36
TEL. 078(232)1111

神戸店 〒650 神戸市生田区元町通2 188
TEL. 078(321)1181

四国支店 〒760 高松市西宝町2丁目6-44
TEL. 0878(33)2233

四国店 〒760 高松市丸亀町8 7
TEL. 0878(51)7777

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1 18 28
TEL. 052(201)5141

北陸支店 〒921 金沢市泉本町7-7
TEL. 0762(43)6111

九州支店 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL. 092(472)2151

福岡店 〒810 福岡市中央区天神1-11 福岡ビル内
TEL. 092(721)7621

小倉店 〒802 北九州市小倉区魚町1 1-1
TEL. 093(531)4331

北海道支店 〒064 札幌市中央区南十条西1丁目 ヤマハセンター
TEL. 011(512)6111

仙台支店 〒983 仙台市原町南目薬師堂北2-1
TEL. 0222(95)6111

仙台店 〒980 仙台市一番町2-6-5
TEL. 0222(27)8511

広島支店 〒730 広島市紙屋町1 1-18
TEL. 0822(48)4511

浜松支店 〒430 浜松市田町32
TEL. 0534(54)4115

浜松店 〒430 浜松市鍛冶町122
TEL. 0534(54)4111

●サービス網

●東京支店 電音サービス係 ☎(03) 572-3111 東京都中央区銀座7-9-18パールビル内

●横浜支店 電音サービス係 ☎(045)212-3111 横浜市中区本町6-61-1

●千葉支店 電音サービス係 ☎(0472)47-6611 千葉市千葉港2-1千葉中央コミュニティセンター内

●関東支店 電音サービス係 ☎(0273)27-3366 群馬県高崎市歌川町8番地(高崎センター内)

●大阪支店 電音サービス係 ☎(06) 877-5151 大阪府吹田市新芦屋下1-16

●神戸支店 電音サービス係 ☎(078)232-1111 神戸市灘合区浜辺通6丁目1-36

●四国支店 電音サービス係 ☎(0878)33-2233 高松市西宝町2丁目6-44

●名古屋支店 電音サービス係 ☎(052)201-5141 名古屋市中区錦1-18-28

●北陸支店 電音サービス係 ☎(0762)43-6111 石川県金沢市泉本町7-7

●九州支店 電音サービス係 ☎(092)472-2151 福岡市博多区博多駅前2-11-4

●北海道支店 電音サービス係 ☎(011)512-6111 札幌市中央区南10条西1丁目

●仙台支店 電音サービス係 ☎(0222)95-6111 仙台市原町南目薬師堂北2-1

●広島支店 電音サービス係 ☎(0828)74-3787 広島市紙屋町西原2207-1

●浜松支店 電音サービス係 ☎(0534)74-0311 浜松市幸町3-5-8